

NEW

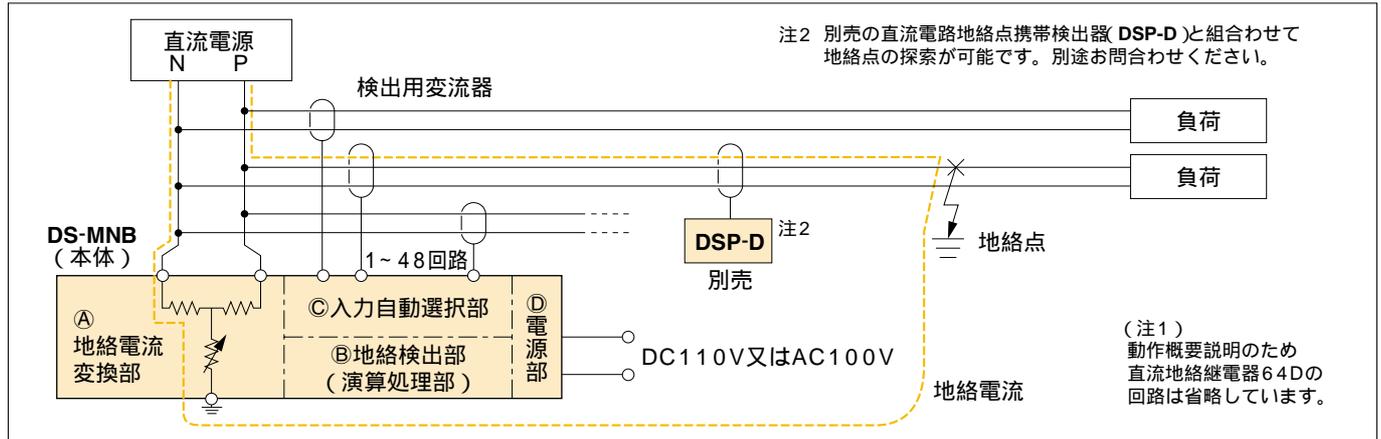


DS-MNB

DS-MNB(最大48回路用)(最大64回路用は別途お問合せください)

動作概要

図のように地絡が発生すると、DS-MNBが次の順序でどの分岐回路に地絡が生じているかを検出し表示します。



- ① 回路に地絡が発生すると回路に設置されている直流地絡継電器64D(注1)が地絡を検出し、その動作信号を直流電路地絡検出装置(DS-MNB)に送ります。
- ② DS-MNBが始動すると、同時に64Dの接地を切り離します。DS-MNBの地絡電流変換部で地絡電流を5Hzの正弦波的脈流を含む直流電流に変換します。
- ③ DS-MNBの入力自動選択部が回路番号を1秒毎に変えながら、検出結果を表示、プリントアウトしていきます。
- ④ 無接点スイッチで選択されてきた信号は、地絡検出部で増幅・フィルタし、回路の容量と地絡抵抗を測定します。信号が判定レベルを超えると地絡回路と判断します。プリントアウトは地絡発生年月日時分、地絡抵抗値、極性、回路の容量値、現在の容量と容量補正時の容量の差を印字した後、地絡回路に“F”を印字します。(入力回路の選択は手動でも可能です。)
- ⑤ 地絡が消滅すると、自動的に待機状態に戻ります。

特長

- 負荷機器を運転状態のまま検出できます。
- 容量補正により各直流電路の容量性不要出力を読みとり、これをキャンセルしますので地絡検出が正確です。
- 地絡信号を同期整流していますので抵抗性のみ検出できます。
- 別売りの直流電路地絡点携帯検出器(DSP-D)と組合せることで、地絡点を探索できます。
- プリンタを内蔵し地絡状態を記録します。
- 同一直流電源内で2台以上の直列運転が可能です。
- RS232C出力端子を利用すれば測定結果をコンピュータへ送れます。(オプション)

DS-MNB(本体)

型式	DS-MNB	
A 地絡電流変換部	発振周波数	5Hz(正弦波)
	適応直流電源(検出回路電圧)	DC110V(90~140V) DC110V以外につきましては別途お問合せください
	地絡電流	最大値4mA(DC110V)
B 地絡検出部(演算処理部)	地絡レベル	最大表示9999
	地絡検出能力	10kΩ未満 全体の対地静電容量600μF以下で、 1回路100μFまで
C 入力自動選択部	入力数	48(64)
	選択時間	1秒/1入力(注)
D 電源部	DC110V(またはAC100V)	
外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)	300×430×330mm(取付金具含383) (端子台、パネル等の突起物は除く)	
重量(kg)	18(本体) (取付金具含) 21	

注: 対地静電容量が多い場合や回路にノイズが多い場合、検出時間が長くなる可能性があります。

検出用変流器



貫通形	型式	S-15	S-30	S-40	S-55	S-68
	貫通孔径		15	30	40	55

分割形	型式	N-18	N-30	N-45	N-65
	貫通孔径		18	30	45